

1. 研究課題名

多発性骨髄腫患者における DPd 療法の後方視的検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、多発性骨髄腫の治療として抗 CD38 抗体であるダラキューロ、免疫調整薬であるポマリスト、レナデックスによる 3 剤の治療である DPd 療法を行なった患者さんを対象に電子カルテからの診療情報を得て、その治療成績ならびに治療効果に関わる因子の検討を行います。この研究によって、より適切な DPd 療法の施行が可能になることが期待されます。

研究期間は承認日から 2025 年 12 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2019 年 01 月から 2023 年 12 月の間に、DPd 療法を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 多発性骨髄腫のサブタイプ
- 4) 多発性骨髄腫の治療歴
- 5) 既往歴
- 6) 併用薬
- 7) 奏効・治療期間
- 8) 治療開始時の臓器障害
- 9) 生存

などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

診療記録から得られた情報において、個人を識別できる情報は削除いたします。ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報なのか、後からでもわかるように管理をいたします。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 血液内科 菊池 拓（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 血液内科 菊池 拓